

新型コロナウイルス感染症患者（229例目）の発生について（第1報）

令和2年8月2日（日）、広島県保健環境センターにおける検査により7月29日（水）に確認された広島県内311例目の患者並びに広島市衛生研究所における検査により7月30日（木）に確認された本市198例目及び7月31日（金）に確認された本市212例目の濃厚接触者の1人が、新型コロナウイルス感染症の患者であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年齢：20歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業：自営業
- (5) 症状：発熱、喉の違和感、筋肉痛、咳

2 検査に至った経緯

- | | |
|----------|--|
| 7月27日（月） | 広島県内311例目、本市198、212例目の患者と会食 |
| 7月30日（木） | 県内311例目の患者の濃厚接触者として保健センターが検体採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陰性 |
| 8月1日（土） | 喉の違和感、筋肉痛、咳が出現し、保健センターに相談 |
| 8月2日（日） | 37.2℃の発熱が出現
保健センターが検体を採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明 |
| 8月3日（月） | A医療機関へ入院 |

※ 本人からの申告によれば、発症前14日以内に海外への渡航歴及び県外への滞在歴はなく、外出時及び勤務時はマスクを着用していた。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。